

報告第9号

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり提出します。

令和5年9月1日提出

佐野市長 金子 裕

理 由

公益財団法人佐野市民文化振興事業団から、別紙のとおり経営状況を説明する書類が提出されたので報告するものです。

参 考

地方自治法抜粋

(財政状況の公表等)

第243条の3 …省 略…

2 普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年
(公益財団法人佐野市民文化振興事業団)

度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

3 …省 略…

地方自治法施行令抜粋

(法人の経営状況等を説明する書類)

第173条の2 地方自治法第243条の3第2項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

2 …省 略…

令和5年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画書

公益財団法人佐野市民文化振興事業団予 算 書

自 令和5年 4月 1日

至 令和6年 3月31日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

目 次

I. 事業計画書 1 ~ 6

II. 予 算 書 7 ~ 11

I 令和5年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1. 基本方針

平成20年に公益法人制度改革関連三法が施行されたことに伴い、平成6年設立の佐野市民文化振興事業団は、平成24年4月1日に「公益財団法人」として新たなスタートを切り、多くの方々のご理解とご協力のもと、令和4年4月に10周年を迎えることができた。

社会の成熟化とともに文化的な営みを人々は求めつつあり、当事業団が果たすべき役割は、近年ますます重要なものとなってきている。そのため、時代に即した展開を図るべく、令和3年度に専属の職員を迎え事務局の独立を果たして事業領域の拡大を進め、令和4年度には「文化財の調査・整備・活用事業」を公益目的事業に追加し、文化財に関わる取り組みを開始した。

令和5年度は、唐沢山城跡調査整備受託事業を継続しつつ、職員体制を整えて佐野市郷土博物館指定管理業務を開始する。そして、当事業団の基本理念である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目指しさらなる事業展開を図る。

2. 公益目的事業

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

舞台や演奏会などの鑑賞事業や文化・芸術に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供する。また、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創成に寄与できるよう、セミナーなどを通して活動を支援する事業を実施する。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施する。

① 美術館・博物館コンサート

・内容：美術館・博物館と演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会を提供し、併せて美術品鑑賞や歴史資料見学の機会を提供する。

・実施場所及び実施時期：協力美術館・博物館及び出演者と調整後決定

・対象人数：美術館・博物館の2か所で開催を予定し、会場の規模により20～40人程度を想定

② コンサートオンライン配信

- ・内容：開催したコンサート等の模様を編集し、後日オンライン配信して、もう一度当日の雰囲気味わいたい人たちや来場できなかった方たちに鑑賞できる機会を提供する。
- ・配信時期：編集後適宜

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、芸術・文化や歴史をテーマに良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高めて郷土への理解や愛着を深める事業を実施する。

① 郷土博物館企画展共催

- ・内容：郷土博物館指定管理業務とは別に、郷土博物館で開催する秋の企画展の理解を深めるための市民向け冊子を作成し発行する。冊子は、市内学校、図書館、公民館図書室での活用を図るとともに、企画展見学者や一般の希望者へも提供し、郷土の歴史や文化財に関する理解の促進を図る。
- ・秋の企画展テーマ「未公開文書からたどる田中正造」・発行数—500部

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施する。

① アートプロジェクト

- ・内容：日頃、絵画や作品づくりをする機会がない方たちを対象に、初心者の方たちにも手軽に参加できるセミナーを開催し、自ら美術作品を制作する面白さを体験してもらい、その後の自主的な文化活動へ向けたきっかけづくりとする。
- ・時 期：11月　・対象人数：30人　・場所：郷土博物館等

② 佐野再発見専門講座

- ・内容：事業団友の会の協力を得て、話し合いの中から佐野の歴史や文化・芸術に関するテーマを見出し、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施する。講座は、講義形式にとらわれることなく、体験的な内容やフィールドワークなどを取り入れて、受講者間の交流に配慮した内容にする。
- ・テーマ：「佐野の魅力と奥深さを再発見する」
- ・時 期：1月～2月　・対象人数：20人　・場所：郷土博物館等

③ 文化活動セミナー

- ・内容：文化活動に興味がある人を対象に仲間づくりや友の会メンバーと

の交流を図り、活動のきっかけづくりとなるセミナーを実施する。

・テーマ：「新たな出会いから生まれる豊かさ」

・時期：6月開講　・対象人数：20人　・場所：郷土博物館等

④ 文化活動フォローアップ

・内容：文化活動セミナー修了者や事業団友の会に対し文化活動支援を行う。主体的な担い手による自主的な文化活動の取り組みや、事業団が進める事業へ参画してもらうなどして、市民の文化活動を支援する。友の会においては、年間を通じ定例会で話し合いを進めつつ、適宜学習会やフィールドワークなども実施する。

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

精神的豊かさを求める市民の文化的活動や歴史や伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興を図る事業である。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業育成助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業が該当する。

2. 地域伝統文化保存育成事業活動助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった伝統文化の保存や民俗文化財の継承、団体の育成を目的とした事業が該当する。

【3】文化財の調査・整備・活用・博物館事業

佐野市内には、後世に伝えるべく史跡や貴重な歴史・文化遺産が多数所在しているため、佐野市が進める史跡整備や歴史・文化遺産の掘り起こしと活用に取り組み、佐野市郷土博物館の指定管理業務を担う利点を有効に活用して、資料収集や調査・研究の成果を市民に広く還元し、本市の歴史・文化的環境の醸成を図る事業である。博物館事業においては、学校教育との連携を図り、青少年の学習を積極的に支援する。

1. 文化財の調査・整備・活用事業

令和5年度は、唐沢山城跡調査整備受託事業を中心に業務を実施する。

唐沢山城跡二の丸石垣の保存修復作業に伴う調査及び復旧計画の策定・設計に伴う作業を実施する。また、令和4年度に実施した本丸石垣積み直しに伴う調査報告書の作成に係る作業を実施する。これら一連の業務は、対象が国指定史跡という性質上、県教育委員会から意向を受けた市教育委員会文化財課と綿密に連携して進める。

さらに、史跡の調査・整備とともに、その活用を図る上では歴史的背景を

探る取り組みが必要であり、唐澤山神社や佐野家に伝わる史料調査も継続して進める。

・期間：4月～ 場所：唐沢山城跡内及び郷土博物館等

2. 博物館事業

佐野市郷土博物館の管理運営を佐野市から受託し、「業務仕様書」に基づき事業を実施する。主な事業は、以下のとおりである。

5月～ 7月 テーマ展「縄文時代の暮らし」（県博地域移動博物館）

6月～11月 講座「古文書入門講座」、「佐野の民話を楽しもう」

「土偶ミニレプリカ作り」、「立体きりおりがみ講座」

「栃木県立博物館へ行こう」（県博協力事業）

「勾玉を作ろう」、「田中正造に学ぶ」

「展示解説ボランティア講座」、「てん刻講座」

7月～ 8月 収蔵資料展「新収蔵資料を中心に」

10月～11月 秋の企画展「未公開文書からたどる田中正造」

及び企画展記念講演会

1月～ 2月 収蔵資料展

「暮らしのうつりかわり～古い道具と昔の暮らし～」

* 博物館利用推進事業 ・ 6年生（歴史学習、5月～6月）

（市内全小学校） ・ 4年生（郷土につくした人々、10月～11月）

・ 3年生（暮らしのうつりかわり、1月～2月）

博物館利用学習（約3千人対象）を実施する。

* 受入事業 ・ 学芸員実習、インターンシップ事業

マイ・チャレンジ推進事業

以上の他、公立の登録博物館として必要な調査・研究等の業務を行う。

【4】 芸術・文化に関する情報収集・提供事業

1. 事業団報『かがやき』29号を9月に発行して市内全戸に配布すると共に、市内公共施設等の情報発信コーナーにも置いて来場者に提供する。

2. 事業団ホームページの充実を引き続き図り、ツイッターの活用を積極的に進めるとともに、令和5年度中にはメールマガジンを開設し、事業団友の会活動や一般登録者へ向けた事業団情報を適宜発信する。なお、メールマガジンを開設するに際しては、事前に登録者を一定数確保してから実施する必要がある、募集を行うなど登録者確保のための取り組みを進める。

【5】 各種団体事業への後援

各種団体等が実施する事業のうち文化振興にかかる各種事業について、当財団が適当であると認めたものに後援名義の使用を承認する。

名義後援とは、当財団がその企画やイベントの趣旨に賛同していることを表すものであり、資金・物資・人的援助等は特に行わない。

令和5年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団 事業予定一覧

実施	事業名および内容	摘要
4月	令和4年度事業・決算監査	会場：郷土博物館
5月	第1回通常理事会	会場：郷土博物館
	定時評議員会	会場：郷土博物館
5月 ～7月	博物館利用推進事業：小学6年生 (歴史学習)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館テーマ展 「縄文時代のくらし」	会場：郷土博物館企画展示室
6月	文化活動セミナー	会場：郷土博物館等
6月 ～11月	博物館講座「古文書入門講座」、「佐野の民話を楽しもう」、「土偶ミニレプリカ作り」、「立体きりおりがみ講座」、「県立博物館へ行こう」、「勾玉を作ろう」、「田中正造に学ぶ」、「展示解説ボランティア講座」、「てん刻講座」	会場：郷土博物館等
7月	第1回事業検討委員会	会場：郷土博物館
7月 ～8月	博物館収蔵資料展 「新収蔵資料を中心に」	会場：郷土博物館企画展示室
8月	経営状況の報告	報告：佐野市議会（9月議会）
9月1日	事業団報『かがやき』29号発行	配布：市内全戸、公共施設等
10月 ～11月	博物館企画展 「未公開文書からたどる田中正造」 及び記念講演会	会場：郷土博物館企画展示室 及び講座室
	博物館利用推進事業：小学4年生 (郷土につくした人々)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館企画展解説冊子発行	発行数：500部

11月	第2回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	アートプロジェクト	会場：郷土博物館等
1月 ～2月	博物館収蔵資料展「くらしのうつり かわり～古い道具と昔のくらし～」	会場：郷土博物館
	博物館利用推進事業：小学3年生 (くらしのうつりかわり)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	佐野再発見専門講座	会場：郷土博物館等
2月	第2回通常理事会	会場：郷土博物館
	臨時評議員会	会場：郷土博物館
3月	第3回事業検討委員会	会場：郷土博物館
年間	唐沢山城跡調査整備受託事業	場所：唐沢山城跡内及び 郷土博物館等
	美術館・博物館コンサート	会場及び時期：協力館と調整
	コンサートオンライン配信	時期：適宜
	文化活動フォローアップ	期間：通年
	文化活動及び伝統文化団体助成	対象：該当団体
	博物館学芸員実習、インターンシッ プ、マイ・チャレンジ推進事業	会場：郷土博物館等

2. 令和5年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団

予算書(正味財産増減計算ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	3,780	2,849	931	債券等運用益
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	2,881	1,436	1,445	債券等運用益
③ 受取補助金等				
受取出捐金	0	0	0	
④ 寄付金収益				
寄付金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	10,000	10,000	0	特定資産指定正味財産取崩
⑤ 事業収益				
公益事業受託収益	35,500	3,000	32,500	博物館指定管理、文化財調査受託
利用料収益	279	34	245	企画展入館、講座参加者負担等
⑥ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
事業活動収入計	52,440	17,319	35,121	
(2) 経常費用				
① 事業費支出	45,224	14,650	30,574	
I 芸術・文化鑑賞事業	1,609	3,050	△ 1,441	
給料手当	888	1,578	△ 690	人件費
賞与	236	448	△ 212	人件費
退職給付費用	21	70	△ 49	人件費
福利厚生費	181	331	△ 150	人件費
旅費交通費	10	30	△ 20	出演者旅費等
通信運搬費	10	10	0	切手、発送代等
消耗品費	60	62	△ 2	鑑賞事業用品代
修繕費	15	10	5	自動車修繕費等
印刷製本費	10	20	△ 10	鑑賞事業PRチラシ印刷
燃料費	10	15	△ 5	自動車ガソリン代
賃借料	0	50	△ 50	
保険料	10	10	0	鑑賞事業ボランティア保険代
諸謝金	100	300	△ 200	出演者謝金
委託費	50	100	△ 50	音響設備等委託料
システム管理費	3	5	△ 2	ホームページ等管理費
支払手数料	5	5	0	謝金等振込手数料
雑費	0	6	△ 6	
II 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業	1,874	2,780	△ 906	
給料手当	863	1,578	△ 715	人件費
賞与	229	447	△ 218	人件費
退職給付費用	20	70	△ 50	人件費
福利厚生費	175	331	△ 156	人件費
旅費交通費	10	10	0	調査旅費
通信運搬費	10	0	10	切手、発送代等
消耗品費	30	38	△ 8	展示・共催事業用品代
修繕費	15	10	5	自動車修繕費等
印刷製本費	470	250	220	企画展解説パンフ、冊子等
燃料費	10	10	0	自動車ガソリン代
保険料	10	5	5	自動車保険代
諸謝金	0	0	0	
租税公課	25	21	4	自動車税、源泉所得税
委託費	0	0	0	
システム管理費	2	5	△ 3	ホームページ等管理費
支払手数料	5	5	0	振込手数料
雑費	0	0	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
Ⅲ 芸術・文化講座及び人材育成セミナー	1,901	4,020	△ 2,119	
給料手当	888	1,577	△ 689	人件費
賞与	236	447	△ 211	人件費
退職給付費用	21	71	△ 50	人件費
福利厚生費	181	330	△ 149	人件費
旅費交通費	10	760	△ 750	講師等旅費交通費
通信運搬費	10	10	0	切手、発送代等
消耗品費	170	110	60	講座、セミナー、文化活動等用品代
修繕費	50	45	5	自動車修繕費等
印刷製本費	80	88	△ 8	講座等PRチラシ、資料作成
燃料費	10	25	△ 15	自動車ガソリン代
保険料	5	15	△ 10	ボランティア活動等保険代
諸謝金	150	360	△ 210	講師等謝金
租税公課	80	90	△ 10	自動車税・保険料
委託費	0	80	△ 80	
システム管理費	5	5	0	ホームページ等管理費
支払手数料	5	7	△ 2	謝金等振込手数料
Ⅳ 芸術・文化助成、情報提供事業	1,049	1,690	△ 641	
給料手当	254	637	△ 383	人件費
賞与	67	181	△ 114	人件費
退職給付費用	6	29	△ 23	人件費
福利厚生費	52	134	△ 82	人件費
通信運搬費	10	7	3	切手、発送代等
消耗品費	20	6	14	情報発信作業用
修繕費	5	3	2	自動車修繕費等
印刷製本費	270	250	20	事業団報「かがやき」発行
燃料費	5	2	3	自動車ガソリン代
保険料	5	5	0	自動車保険料
租税公課	5	3	2	自動車税・重量税等
支払助成金	260	220	40	文化活動団体活動助成金
委託費	50	200	△ 150	ホームページ改良費
システム管理費	35	10	25	ホームページ等管理費
支払手数料	5	3	2	助成金振込手数料
Ⅴ 文化財調査・整備・活用・博物館事業	38,791	3,110	35,681	
給料手当	18,917	1,949	16,968	人件費
賞与	5,035	553	4,482	人件費
退職給付費用	447	87	360	人件費
福利厚生費	3,849	409	3,440	人件費
会議研修費	15	0	15	講師、解説ボランティア飲物代等
旅費交通費	70	0	70	講師、調査研究、研修等交通費
通信運搬費	460	0	460	電話料、文書発送、テレビ受信料等
消耗什器備品費	500	0	500	田中正造関係資料購入費
消耗品費	933	20	913	施設管理、事務事業、調査用消耗品
修繕費	615	15	600	施設及び自動車修繕料等
印刷製本費	300	50	250	チラシ、ポスター、パンフ、団報等発行
燃料費	70	5	65	自動車ガソリン代
光熱水料費	2,200	0	2,200	電気、水道・下水道等使用料
賃借料	10	0	10	電話機借上料
保険料	305	11	294	火災、自動車、損害等保険料
諸謝金	200	0	200	講演会、講座、調査協力等謝礼金
租税公課	50	6	44	自動車税・重量税等
委託費	4,665	0	4,665	清掃、燻蒸、保守、資料修復等委託
システム管理費	10	5	5	ホームページ等管理費
支払手数料	120	0	120	支払い、車検代行等手数料
雑費	20	0	20	企画展等資料借用土産代等

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
②管理費支出	7,216	8,580	△ 1,364	
給料手当	3,550	4,578	△ 1,028	人件費
賞与	945	1,297	△ 352	人件費
退職給付費用	84	204	△ 120	人件費
福利厚生費	722	959	△ 237	人件費
会議研修費	40	40	0	研修会参加費
交際費	10	10	0	慶弔費等
旅費交通費	20	30	△ 10	公益財団事務研修
通信運搬費	200	150	50	電話FAX,インターネット,郵送代
消耗品費	305	144	161	職員増に伴う事務、管理用品等
修繕費	100	50	50	自動車修繕費
印刷製本費	100	100	0	団報『かがやき』発行
燃料費	85	35	50	自動車ガソリン代
賃借料	360	360	0	TKC会計・給与システム
保険料	75	35	40	自動車保険代
諸謝金	0	0	0	コンサル料を支払手数料へ変更
租税公課	50	35	15	自動車税、源泉所得税
支払負担金	80	72	8	全国公益法人協会 準会員費
システム管理費	20	10	10	ホームページ運営費
支払手数料	460	466	△ 6	会計・労務コンサル、振込料等
支払利息	0	0	0	
雑費	10	5	5	副賞代等
経常費用計	52,440	23,230	29,210	
当期経常増減額	0	△ 5,911	5,911	
2. 経常外増減の部			0	
経常外収益計		0	0	
経常外費用計		0	0	
当期経常外増減額		0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 5,911	5,911	
一般正味財産期首残高	27,684	33,595	△ 5,911	
一般正味財産期末残高	27,684	27,684	0	
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0	
①基本財産運用益			0	
基本財産受取利息	3,780	2,849	931	
投資有価証券受取利息	27	27	0	アンダーパー取得1年分償却額
②特定資産運用益			0	
特定資産受取利息	2,881	1,436	1,445	
投資有価証券受取利息	108	104	4	アンダーパー取得1年分償却額
③一般正味財産への振替額			0	
一般正味財産への振替額	16,661	14,285	2,376	
当期指定正味財産増減額	△ 9,865	△ 9,869	4	
指定正味財産期首残高	890,386	900,255	△ 9,869	
指定正味財産期末残高	880,521	890,386	△ 9,865	
Ⅲ 正味財産期末残高	908,205	918,070	△ 9,865	

(注)

1. 従来、収支予算書は「資金収支方式」により作成していたが、平成24年度から公益法人認定法施行規則第30条に基づき、「正味財産増減計算方式」により作成している。

2. 予算書は、公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)の「正味財産増減計算書」の様式に準じて作成している。

3. 前年度の一般正味財産及び指定正味財産の期末残高並びに当年度の一般正味財産及び指定正味財産の期首・期末残高は、本予算編成時における見込額である。

Ⅱ-(2) 令和5年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団正味財産増減予算内訳書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引控除	合計
	(1)文化・芸術 振興事業	(2)助成事業	(3)文化財調査・ 博物館事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	3,780	3,780	0	0	3,780
基本財産受取利息	0	0	0	3,780	3,780	0	0	3,780
特定資産運用益	0	0	0	0	0	2,881	0	2,881
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	2,881	0	2,881
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0
受取出捐金	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	40	0	35,739	0	35,779	0	0	35,779
公益事業受託収益	0	0	35,500	0	35,500	0	0	35,500
利用料収益	40	0	239	0	279	0	0	279
受取寄付金	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
文化振興事業団寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	40	0	35,739	3,780	39,559	12,881	0	52,440
(2) 経常費用								
事業費	5,384	1,049	38,791	0	45,224		0	45,224
給料手当	2,639	254	18,917	0	21,810			21,810
賞与	701	67	5,035	0	5,803			5,803
退職給付費用	62	6	447	0	515			515
福利厚生費	537	52	3,849	0	4,438			4,438
会議研修費	0	0	15	0	15			15
旅費交通費	30	0	70	0	100			100
通信運搬費	30	10	460	0	500			500
消耗什器備品費	0	0	500	0	500			500
消耗品費	260	20	933	0	1,213			1,213
修繕費	80	5	615	0	700			700
印刷製本費	560	270	300	0	1,130			1,130
燃料費	30	5	70	0	105			105
光熱水料費	0	0	2,200	0	2,200			2,200
賃借料	0	0	10	0	10			10
保険料	25	5	305	0	335			335
諸謝金	250	0	200	0	450			450
租税公課	105	5	50	0	160			160
支払助成金	0	260	0	0	260			260
委託費	50	50	4,665	0	4,765			4,765
システム管理費	10	35	10	0	55			55
支払手数料	15	5	120	0	140			140
雑費	0	0	20	0	20			20
管理費						7,216	0	7,216
給料手当						3,550		3,550
賞与						945		945
退職給付費用						84		84
福利厚生費						722		722

会議研修費						40		40
交際費						10		10
旅費交通費						20		20
通信運搬費						200		200
消耗品費						305		305
修繕費						100		100
印刷製本費						100		100
燃料費						85		85
賃借料						360		360
保険料						75		75
租税公課						50		50
支払負担金						80		80
システム管理費						20		20
支払手数料						460		460
雑費						10		10
経常費用計	5,384	1,049	38,791	0	45,224	7,216	0	52,440
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,344	△ 1,049	△ 3,052	3,780	△ 5,665	5,665	0	0
基本財産評価損益等					0	0		0
特定資産評価損益等					0	0		0
投資有価証券評価損益等					0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,344	△ 1,049	△ 3,052	3,780	△ 5,665	5,665	0	0
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	10,897	1,191	110	△ 2,850	9,348	△ 9,348		0
当期一般正味財産増減額	5,553	142	△ 2,942	930	3,683	△ 3,683	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	27,684		27,684
一般正味財産期末残高	5,553	142	△ 2,942	930	3,683	24,001	0	27,684
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								
基本財産受取利息(指定)				3,780	3,780	0		3,780
投資有価証券受取利息(補助金) (アンダー償却)				27	27			27
基本財産運用益計	0	0	0	3,807	3,807	0		3,807
特定資産運用益								
特定資産受取利息					0	2,881		2,881
投資有価証券受取利息 (アンダー償却)					0	108		108
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	2,989		2,989
一般正味財産への振替額	0	0		3,780	3,780	12,881		16,661
当期指定正味財産増減額	0	0		27	27	△ 9,892	0	△ 9,865
指定正味財産期首残高				503,661	503,661	386,725		890,386
指定正味財産期末残高	0	0		503,688	503,688	376,833	0	880,521
III 正味財産期末残高	5,553	142	△ 2,942	504,618	507,371	400,834	0	908,205

令和4年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告

公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

目 次

I. 事業報告及び附属明細書	……	1～11
II. 貸借対照表及び内訳表	……	12・13
III. 正味財産増減計算書及び内訳表	……	14～17
IV. 財務諸表に対する注記	……	18～21
V. 附属明細書	……	22
VI. 財産目録	……	23
VII. 監査報告書	……	24

I 令和4年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1. 事業概要

令和4年度は、当事業団の基本理念である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」に向け、これまでの公益目的事業内容を改めて見直し、鑑賞事業、講座やセミナーなど、時代に即した芸術・文化の振興事業を展開した。

令和4年4月1日に公益財団法人化して10周年を迎えたため、公益財団法人化10周年記念行事「文化のつどい」を12月に開催し、市民が芸術や文化に触れ、佐野の文化を考える機会を提供した。

また、「事業団友の会」を発足し、事業団主催事業への参画や自主的な活動支援など、文化活動を通じた市民協働の取り組みをはじめた。

事業団運営では、新たに事業検討委員会を設置し、事業団の事業や在り方などについて意見交換及び検討を行った。

なお、令和5年度から指定管理者として佐野市郷土博物館の管理運営を行うため、2月に指定管理準備室を設置し、専従職員の任用を図った。

昨年度に引き続き、コロナ禍のため、事業は適宜感染対策を講じつつ行った。

2. 公益目的事業

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

舞台や演奏会などの鑑賞事業や文化・芸術に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供し、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創成に寄与できるよう、活動を支援する事業である。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、友の会の協力を得ながら、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施した。

① 短編映画・音楽鑑賞

公益財団法人化10周年記念行事として、佐野市在住監督の短編映画作品を上映した。また、映画で用いられた天明鋳物作品とその製作過程映像も大ホールホワイエにて公開し、天明鋳物に対する興味関心を高める機会を市民に提供した。なお、記念行事当日は、文化講演会に先立ち音楽鑑賞(オープニングコンサート)を実施した。

ア 音楽鑑賞(公益財団法人化10周年記念行事)

- ・期日 令和4年12月3日(土)
- ・場所 佐野市文化会館大ホール
- ・来場者 約500人
- ・演奏曲 アンコールを含め7曲
- ・出演者 ヴァイオリン 神山 みどり 氏
 ヴァイオリン 手塚 由美 氏
 チェロ 佐野 朋子 氏
 ピアノ 細田 秀一 氏

イ 短編映画鑑賞(公益財団法人化10周年記念行事)

- ・期日 令和4年12月3日(土)
- ・場所 佐野市文化会館大ホール
- ・来場者 約500人
- ・上映 田中 晴菜 氏 監督作品
 『いきうつし』、最新映画『幸福な装置』予告
 ※上映後、田中晴菜氏による舞台挨拶
 ※映画『幸福な装置』で用いられた天明鋳物作品とその製作過程映像を大ホールホワイエにて展示公開

②美術館・博物館コンサート

美術館・博物館・演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会とともに、美術や資料鑑賞の機会を提供した。

ア 佐野東石美術館コンサート

- ・期日 令和4年9月25日(日)
- ・場所 佐野東石美術館 3階展示室
- ・出演者 フルート 小山 花波 氏
 ピアノ 須藤 ちひろ 氏
- ・参加者 55人

イ 佐野市郷土博物館コンサート

- ・期日 令和5年1月28日(土)
- ・場所 佐野市郷土博物館 1階展示ホール
- ・出演者 ソプラノ 茂木 美樹 氏
 ピアノ 大和田 亜沙美 氏
- ・参加者 44人

③コンサートオンライン配信

令和3年度の映像に加え、新たに令和4年度実施の美術館・博物館コンサート、牧歌舞伎定期公演をオンライン配信し、もう一度当日の雰囲気を感じたい人たちや来場できなかった方たちに鑑賞できる機会を提供した。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、佐野の芸術・文化や歴史をテーマに、良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高めて郷土への理解や愛着を深める事業を実施した。

① 郷土博物館企画展共催

郷土博物館と連携し、学芸員の協力を得て解説パンフレットを作成した。奥深い郷土の理解促進を図り、一方で、青少年やふだん博物館に足を運ばない市民の方々に対しても、郷土の歴史・文化への興味関心を醸成する取り組みを実施した。

ア 春の企画展「佐野の近代と田中正造」

- ・期間 令和4年4月29日（金）～6月19日（日）
- ・共催内容 解説パンフレットの作成 500部

イ 秋の企画展「古代三疊山周辺の生産遺跡と役所・寺院」

- ・期間 令和4年9月23日（金）～11月23日（水）
- ・共催内容 解説パンフレットの作成 500部

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施した。

① 10周年記念文化講演会

公益財団法人化10周年記念行事として、第一線で活躍する佐野市ゆかりの識者による一般向け講演会、並びに平和な暮らしと文化に関する児童生徒向けの講話を開催した。

ア 平和な暮らしと文化に関する講話（公益財団法人化10周年記念行事）

- ・期日 令和4年12月2日（金）
- ・場所 午前：城東中学校 午後：あそ野学園義務教育学校
- ・演題 「戦争と平和～アウシュヴィッツから人権を考える～」
- ・講師 中谷 剛 氏
(ポーランド在住・アウシュヴィッツ博物館ガイド)
- ・参加者 城東中学校 367人（生徒337、教職員30）
あそ野学園義務教育学校 469人
(児童生徒5～9年生449、教職員20)

イ 一般向け講演会（公益財団法人化10周年記念行事）

- ・期日 令和4年12月3日（土）

- ・場所 佐野市文化会館大ホール
- ・来場者 約500人
- ・演題 「ポーランドに生きて、日本を想う」
- ・講師 中谷 剛 氏
(ポーランド在住・アウシュヴィッツ博物館ガイド)

② スタンウェイを奏でよう！

公益財団法人化10周年記念行事の一環として、文化会館のステージ上で、スタンウェイ・グランドピアノを希望者に無料で開放し、ふだんでは奏でることのできない音色を体験する機会を提供した。

- ・期日 令和4年12月3日(土)
- ・場所 佐野市文化会館大ホール
- ・内容 ピアノ独奏、連弾
- ・演奏者 12組(14人)

③ 壁画アートプロジェクト

東児童館を会場として、子どもたちに宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」を読み聞かせて、その物語を壁画として表現するアート制作体験講座を実施した。

- ・期日 令和4年8月3日(水)、4日(木)
- ・場所 佐野東児童館
- ・講師 林 香君 氏(文星芸術大学名誉教授・陶芸家)
- ・参加者 27人(犬伏こどもクラブの小学3～4年生)

※製作前に、チェロ奏者の佐藤愛雅氏によるチェロの音を聴く体験を実施

※完成後、公益財団法人化10周年記念行事会場の佐野市文化会館大ホールホワイエで展示公開した後、佐野東児童館に展示

④ 佐野再発見専門講座

佐野の歴史や芸術・文化に関するテーマを設定し、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施した。

- ・テーマ「天明鋳物を知る・つくる・体験する」
- ・期日 1回目 令和5年
2月19日(日)「天命釜の不思議」
2回目 3月5日(日)「世界でひとつだけの作品づくり」
3回目 3月26日(日)「古天命釜でお茶を楽しむ」
- ・場所 佐野市郷土博物館及び若林鋳造所
- ・講師 若林 秀真 氏、若林 美延 氏
- ・参加者 15人

⑤ 文化活動人材育成セミナー

参加者が意見交換を行い、テーマを決めてグループ活動を行うスタイルのセミナーを開催した。修了後は、公益財団法人化10周年記念行事への参画や主体的な文化活動の支援など、活動の継続機会を設けた。

- ・テーマ 「新たな出会いから生まれる豊かさ」
- ・期日 1回目 令和4年4月23日(土)
2回目 5月14日(土)
3回目 5月28日(土)
- ・場所 佐野市郷土博物館外(2班に分かれフィールドワークも実施)
- ・参加者 7人

⑥ 文化活動フォローアップ

令和3年度及び4年度の人材育成セミナー修了者等に対し、引き続き活動を希望する人に対し文化活動支援を行った。事業団が進める事業への参画、主体的な文化活動の取り組みを支援する「事業団友の会」を設立し、グループの育成を図った。

ア イベント企画運営グループ「S・Cフラワーズ」

- ・参加者 6人
- ・活動内容 10周年記念行事、美術館・博物館コンサート 等

イ 佐野の文化探求グループ「be文活フレンズ」

- ・参加者 11人
- ・活動内容 市内フィールドワーク 等

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

精神的豊かさを求める市民の文化的活動や歴史や伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興を図る事業である。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業育成助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし個性豊かな地域文化を創造する事業を対象に団報等で募集を行い、要件に該当する応募が1件あったため、事業検討委員会で審議し理事会に報告され、令和5年度の助成金交付が決定した。

[交付決定の内容]

- ・団体名 日本水彩画会安足支部
- ・事業名 第125回記念展開催と記念画集発行
記念事業として水彩画の理解普及拡大
- ・助成額 110,000円
- ・実施期間 令和5年6月～令和6年2月

2. 地域伝統文化保存育成事業活動助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった伝統文化の保存や民俗文化財の継承、団体の育成を目的とした事業を対象に団報等で募集を行ったが、要件に該当する応募はなかった。

【3】文化財の調査・整備・活用事業

遺跡や歴史資料などの文化財を調査し、貴重な歴史遺産に光を当て、史跡等の保存・整備・活用を進め、歴史・文化的環境の醸成を図る事業である。

1. 唐沢山城跡の調査・整備

佐野市による唐沢山城跡の調査・整備事業において、令和4年度は崩落の危機に瀕している本丸虎口石垣の積み直しのため、佐野市から委託を受け、発掘調査と積み直し作業等整備について指導・監督等の業務を実施し、史跡整備を進めた。

・履行期間 令和4年10月3日(月)～令和5年3月18日(土)

【4】芸術・文化に関する情報収集・提供事業

事業団報やホームページなどを活用し、芸術・文化に関する情報収集や情報提供を実施した。

1. 事業団報『かがやき』28号の発行

事業団の広報紙を市内全戸に配布すると共に、市内公共施設等の情報発信コーナーにも置いて来場者に供した。

・体裁 A4版 8ページ(フルカラー)

・部数 46,000部

2. 広報誌・インターネットの活用

事業のPRのために、市の広報紙や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信した。

【5】各種団体事業への後援

各団体が実施する各種事業のうち文化振興に関わる事業について、当該団体から後援依頼の申請を受け、当財団がその企画やイベントの趣旨に賛同した団体に後援名義の使用を承諾した。

1. 第120回日本水彩画会 安足支部展

・期日 令和4年9月12日(月)～14日(水)

・場所 あしかがフラワーパークプラザ

・主催 日本水彩画会安足支部

・入場者数 402人

2. 第10回佐野ルネッサンス鑄金展
 - ・期日 令和4年9月24日(土)～25日(日)
 - ・場所 アルシオーネ・コート佐野
 - ・主催 佐野ルネッサンス鑄金展実行委員会・佐野市
 - ・入場者数 約700人

3. 佐野市民文化祭 演劇部門
 - さの演劇塾第13回公演「僕のメリーゴーランド」
 - ・期日 令和4年11月19日(土)・20日(日)
 - ・場所 佐野市文化会館 小ホール
 - ・主催 さの演劇塾・佐野市・佐野市文化協会
 - ・入場者数 326人

4. 岡崎 稔 五百羅漢像写真展
 - ・期日 令和4年11月19日(土)～25日(金)
 - ・場所 サンプルート佐野
 - ・主催 NPO 法人 CoCoA
サンプルートサロン「まほろ亭」実行委員会
 - ・入場者数 200人

5. 第13回さのクラシックコンサート
 - ・期日 令和4年11月27日(日)
 - ・場所 佐野市文化会館 大ホール
 - ・主催 佐野市文化会館
 - ・入場者数 619人

6. 第122回日本水彩画会 安足支部展
 - ・期日 令和5年1月25日(水)～29日(日)
 - ・場所 佐野市文化会館展示室A・B 会議室201・205
 - ・主催 日本水彩画会安足支部
 - ・入場者数 604人

7. 第14回佐野新人演奏会
 - ・期日 令和5年2月11日(土)
 - ・場所 佐野市文化会館 小ホール
 - ・主催 佐野ユネスコ協会
 - ・入場者数 188人

【6】理事会、評議員会等に関する事項

1. 理事会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
第1回 通常	令和4年 5月13日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について	—
		2 議案第1号 令和3年度事業報告について	可決
		3 議案第2号 令和3年度決算報告について	可決
		4 議案第3号 公益目的事業（公3）の追加について	可決
		5 議案第4号 令和4年度事業計画の追加及び予算の補正について	可決
		6 議案第5号 事業検討委員会の設置と委員の選任について	可決
		7 議案第6号 令和4年度定時評議員会の招集について	可決
第1回 臨時	令和4年 6月3日	1 議案第1号 理事長（代表理事）の選定について	可決
		2 議案第2号 専務理事（業務執行理事）の選定について	可決
第2回 通常	令和5年 2月2日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について	—
		2 報告第2号 佐野市郷土博物館指定管理者の指定について	—
		3 報告第3号 令和5年度芸術・文化活動助成金事業に係る事業検討委員会からの答申について	—
		4 報告第4号 令和3年度事業報告書等の修正について	—
		5 議案第1号 公益目的事業（公3）の変更について	可決
		6 議案第2号 就業規則の改訂について	可決
		7 議案第3号 令和5年度事業計画について	可決
		8 議案第4号 令和5年度収支予算について	可決

		9 議案第5号 令和4年度臨時評議員会の招集について	可決
--	--	----------------------------	----

2. 評議員会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
定時	令和4年 6月3日	1 報告第1号 公益目的事業（公3）の追加について	—
		2 報告第2号 令和4年度事業計画の追加及び予算の補正について	—
		3 報告第3号 事業検討委員会の設置と委員の選任について	—
		4 議案第1号 令和3年度事業報告について	可決
		5 議案第2号 令和3年度決算報告について	可決
		6 議案第3号 任期満了等に伴う理事の選任について	可決
		7 議案第4号 評議員の追加選任について	可決
臨時	令和5年 2月15日	1 報告第1号 佐野市郷土博物館指定管理者の指定について	—
		2 報告第2号 令和5年度芸術・文化活動助成金事業に係る事業検討委員会からの答申について	—
		3 報告第3号 令和3年度事業報告書等の修正について	—
		4 報告第4号 公益目的事業（公3）の変更について	—
		5 報告第5号 就業規則の改訂について	—
		6 報告第6号 令和5年度事業計画について	—
		7 報告第7号 令和5年度収支予算について	—

3. 事業検討委員会

令和4年2月4日の理事会で設置された事業検討委員会において、事業団における事業推進について検討を行った。

〔会議概要〕

開催日		議事等
第1回	令和4年 6月14日	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長の互選、並びに副委員長の指名について <ul style="list-style-type: none"> ・互選により委員長は小林貴代委員 ・指名により副委員長は岩船哲也委員 (委員：浅田有里佳委員 亀田正幸委員 川田夏実委員 三好仁委員) 2 令和4年度の会議日程について 3 佐野の文化に関する意見交換
第2回	令和4年 11月1日	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度文化活動助成事業の選定について 2 事業団 HP 掲載「佐野市ゆかりの芸術家」の更新について 3 令和5年度に期待する事業団の役割について
答申	令和4年 11月1日	「令和5年度文化活動助成事業の選定について」委員長が佐野正行理事長に答申
第3回	令和5年 3月9日	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年11月1日付、理事長への答申・意見具申について 2 佐野市郷土博物館の指定管理について 3 令和5年度事業計画について 4 「佐野市ゆかりの芸術家」について 5 諮問「佐野市民文化振興事業団の今日的役割について」

【6】登記に関する事項

登記年月日	件名
令和4年6月10日	理事及び評議員の任期満了に伴う改選があり、評議員・理事・代表理事の変更登記を行った。

【7】情報公開に関する事項

無し。

附属明細書

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。

貸借対照表
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,238,287	2,778,756	3,459,531
前払費用	105,000		105,000
流動資産合計	6,343,287	2,778,756	3,564,531
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	499,935,200	499,904,815	30,385
定期預金(基)(指定)	3,756,279	3,756,279	0
基本財産合計	503,691,479	503,661,094	30,385
(2) 特定資産			
投資有価証券	299,689,225	199,689,225	100,000,000
特別事業基金(特)	97,904,501	213,904,501	△ 116,000,000
特定資産合計	397,593,726	413,593,726	△ 16,000,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
美術品	20,010,000	20,010,000	0
投資有価証券	310,775		310,775
その他固定資産合計	20,320,776	20,010,001	310,775
固定資産合計	921,605,981	937,264,821	△ 15,658,840
資産合計	927,949,268	940,043,577	△ 12,094,309
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	847,882	11,000	836,882
預り金	180,769	46,509	134,260
流動負債合計	1,028,651	57,509	971,142
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	1,028,651	57,509	971,142
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	503,691,479	503,661,094	30,385
寄付金	396,593,726	396,593,726	0
指定正味財産合計	900,285,205	900,254,820	30,385
(うち基本財産への充当額)	(503,691,479)	(503,661,094)	(30,385)
(うち特定資産への充当額)	(396,593,726)	(396,593,726)	(0)
2. 一般正味財産	26,635,412	39,731,248	△ 13,095,836
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,000,000)	(17,000,000)	(△ 16,000,000)
正味財産合計	926,920,617	939,986,068	△ 13,065,451
負債及び正味財産合計	927,949,268	940,043,577	△ 12,094,309

貸借対照表内訳表
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	0	6,238,287		6,238,287
前払費用	105,000			105,000
流動資産合計	105,000	6,238,287		6,343,287
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	499,935,200	0		499,935,200
定期預金(基)(指定)	3,756,279	0		3,756,279
基本財産合計	503,691,479	0		503,691,479
(2) 特定資産				
投資有価証券	0	299,689,225		299,689,225
特別事業基金(特)	0	97,904,501		97,904,501
特定資産合計	0	397,593,726		397,593,726
(3) その他固定資産				
車両運搬具	1	0		1
美術品	20,010,000	0		20,010,000
投資有価証券		310,775		310,775
その他固定資産合計	20,010,001	310,775		20,320,776
固定資産合計	523,701,480	397,904,501		921,605,981
資産合計	523,806,480	404,142,788		927,949,268
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	648,508	199,374		847,882
預り金	0	180,769		180,769
流動負債合計	648,508	380,143		1,028,651
2. 固定負債				
固定負債合計				
負債合計	648,508	380,143		1,028,651
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	503,691,479	0		503,691,479
寄付金	0	396,593,726		396,593,726
指定正味財産合計	503,691,479	396,593,726		900,285,205
(うち基本財産への充当額)	(503,691,479)	(0)		(503,691,479)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(396,593,726)		(396,593,726)
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(1,000,000)		(1,000,000)
正味財産合計	523,353,880	403,566,737		926,920,617
負債及び正味財産合計	524,002,388	403,946,880		927,949,268

正味財産増減計算書
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,187,777	2,849,045	338,732
基本財産運用益計	3,187,777	2,849,045	338,732
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,955,844	1,378,483	577,361
特定資産運用益計	1,955,844	1,378,483	577,361
事業収益			
参加者負担金収益	141,900	48,400	93,500
公益事業受託収益	2,984,781		2,984,781
事業収益計	3,126,681	48,400	3,078,281
受取寄付金			
受取寄付金振替額	1,031,775		1,031,775
受取寄付金計	1,031,775		1,031,775
雑収益			
受取利息	51	52	△ 1
雑収益	1,800		1,800
雑収益計	1,851	52	1,799
経常収益計	9,303,928	4,275,980	5,027,948
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	7,784,649	6,168,000	1,616,649
賞与	1,876,018	1,288,875	587,143
退職給付費用	139,113		139,113
福利厚生費	1,571,985	1,197,350	374,635
旅費交通費	214,363	61,220	153,143
通信運搬費	26,071	17,279	8,792
消耗品費	322,932	225,570	97,362
修繕費	36,337	38,762	△ 2,425
印刷製本費	558,908	555,950	2,958
燃料費	16,372	14,640	1,732
賃借料	110,000		110,000
保険料	32,923	33,521	△ 598
諸謝金	655,000	180,000	475,000
租税公課	11,768	13,104	△ 1,336
委託費	401,800	50,000	351,800
システム管理費	74,457	6,769	67,688
支払手数料	9,515	10,260	△ 745
事業費計	13,842,211	9,861,300	3,980,911
管理費			
給料手当	4,870,959	3,855,000	1,015,959
賞与	1,173,508	805,547	367,961
退職給付費用	87,087		87,087
福利厚生費	983,932	748,355	235,577

会議研修費	37,178	62,556	△ 25,378
旅費交通費	1,110	2,340	△ 1,230
通信運搬費	156,398	131,776	24,622
消耗品費	168,158	193,283	△ 25,125
修繕費	33,141	35,391	△ 2,250
印刷製本費	88,861	60,594	28,267
燃料費	14,934	13,366	1,568
賃借料	349,800	349,800	0
保険料	29,517	29,991	△ 474
租税公課	10,732	11,966	△ 1,234
支払負担金	72,000	71,200	800
支払手数料	428,255	427,865	390
システム管理費	46,983	4,231	42,752
雑費	5,000		5,000
管理費計	8,557,553	6,803,261	1,754,292
経常費用計	22,399,764	16,664,561	5,735,203
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,095,836	△ 12,388,581	△ 707,255
当期経常増減額	△ 13,095,836	△ 12,388,581	△ 707,255
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
投資有価証券売却益	0	538,000	△ 538,000
固定資産売却益計	0	538,000	△ 538,000
経常外収益計	0	538,000	△ 538,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	538,000	△ 538,000
当期一般正味財産増減額	△ 13,095,836	△ 11,850,581	△ 1,245,255
一般正味財産期首残高	39,731,248	51,581,829	△ 11,850,581
一般正味財産期末残高	26,635,412	39,731,248	△ 13,095,836
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息(指)	3,187,777	2,849,045	338,732
投資有価証券受取利息(補助金)	30,385	27,385	3,000
投資有価証券受取利息(寄付金)		103,590	△ 103,590
基本財産運用益計	3,218,162	2,980,020	238,142
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,955,723	1,275,448	680,275
特定資産運用益計	1,955,723	1,275,448	680,275
特定資産評価損益等			
特定資産評価損益等	1,031,775		1,031,775
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	6,175,275	4,124,493	2,050,782
当期指定正味財産増減額	30,385	130,975	△ 100,590
指定正味財産期首残高	900,254,820	900,123,845	130,975
指定正味財産期末残高	900,285,205	900,254,820	30,385
III 正味財産期末残高	926,920,617	939,986,068	△ 13,065,451

正味財産増減計算書内訳表
令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引等 消去	合計
	公1 (経費・企画展共催 事業・講座)	公2 (助成支援事業)	公3 (文化財調査・整 備・活用事業)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用利益								
基本財産受取利息								
基本財産運用利益計				3,187,777	3,187,777			3,187,777
特定資産運用利益								
特定資産受取利息				0	0			1,955,844
特定資産運用利益計				0	0			1,955,844
事業収益								
参加者負担金収益	141,900							141,900
公益事業受託収益			2,984,781					2,984,781
事業収益計	141,900		2,984,781					3,126,681
受取寄付金								
受取寄付金振替額				50,000	50,000			981,775
受取寄付金計				50,000	50,000			981,775
雑収益								
受取利息								51
雑収益	717	390						1,107
雑収益計	717	390						1,107
経常収益計	142,617	390	2,984,781	3,237,777	6,365,565	2,938,363		9,303,928
(2) 経常費用								
事業費								
給料手当	5,653,285	674,315	1,457,049					7,784,649
賞与	1,451,536	163,002	261,480					1,876,018
退職給付費用	90,026	11,990	37,097					139,113
福利厚生費	1,059,365	135,709	376,911					1,571,985
旅費交通費	214,363							214,363
通信運搬費	23,943	1,064	1,064					26,071
消耗品費	261,195	18,705	43,032					322,932
修繕費	24,457	1,598	10,282					36,337
印刷製本費	471,622	43,643	43,643					558,908
燃料費	12,108	720	3,544					16,372
賃借料	110,000							110,000
保険料	29,387							29,387
諸謝金	655,000	1,423	2,113					658,536
租税公課	10,036	518	1,214					11,768
委託費	54,200		347,600					401,800
システム管理費	66,136	6,517	1,804					74,457
支払手数料	9,075		440					9,515
事業費計	10,195,734	1,059,204	2,587,273		13,842,211	0		13,842,211

科目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引等 消去	合計
	公1 (鑑賞・企画展共催 事業・講座)	公2 (助成支援事業)	公3 (文化財調査・整 備・活用事業)	共通	小計			
管理費								
給料手当						4,870,959		4,870,959
退職給付費用						1,173,508		1,173,508
福利厚生費						87,087		87,087
会議研修費						983,932		983,932
旅費交通費						37,178		37,178
通信運搬費						1,110		1,110
消耗品費						156,398		156,398
修繕費						168,158		168,158
印刷製本費						33,141		33,141
燃料費						88,861		88,861
賃借料						14,934		14,934
保険料						349,800		349,800
租税公課						29,517		29,517
支払負担金						10,732		10,732
支払手数料						72,000		72,000
システム管理費						428,255		428,255
雑費						46,983		46,983
雑費計						5,000		5,000
経常費用計	10,195,734	1,059,204	2,587,273		13,842,211	8,557,553		8,557,553
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,053,117	△ 1,058,814	397,508	3,237,777	△ 7,476,646	△ 5,619,190		△ 13,095,836
当期経常増減額	△ 10,053,117	△ 1,058,814	397,508	3,237,777	△ 7,476,646	△ 5,619,190		△ 13,095,836
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計						0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額						0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 10,053,117	△ 1,058,814	397,508	3,237,777	△ 7,476,646	△ 5,619,190		△ 13,095,836
他会計振替額	9,705,517	1,058,814	△ 397,508	△ 4,226,691	6,140,132	△ 6,140,132		0
当期一般正味財産増減額	△ 347,600	0	0	△ 988,914	△ 1,336,514	△ 11,759,322		△ 13,095,836
一般正味財産期首残高	20,010,001	0		988,914	20,998,915	18,732,333		39,731,248
一般正味財産期末残高	19,662,401	0	0	0	19,662,401	6,973,011		26,635,412
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								
基本財産受取利息(指)				3,187,777	3,187,777			3,187,777
投資有価証券受取利息(補助金)				30,385	30,385			30,385
基本財産運用益計				3,218,162	3,218,162			3,218,162
特定資産運用益				0	0			0
特定資産受取利息				0	0			0
特定資産運用益計				0	0			0
特定資産評価損益等								
特定資産評価損益等				50,000	50,000			50,000
一般正味財産への振替額								
一般正味財産への振替額				3,237,777	3,237,777			3,237,777
当期指定正味財産増減額				30,385	30,385			30,385
指定正味財産期首残高				503,661,094	503,661,094			900,254,820
指定正味財産期末残高				503,691,479	503,691,479			900,285,205
III 正味財産期末残高	19,662,401	0	0	503,691,479	523,353,880	403,566,737		926,920,617

IV. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

公益法人会計基準

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正、
平成28年3月22日改正 内閣府公益認定等委員会)

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。ただし、美術品については減価償却を行わない。

(4) 引当金の計上基準

該当なし。

(5) リース取引の処理方法

該当なし。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	499,904,815	30,385	0	499,935,200
定期預金(指定正味)	3,419,429	0	0	3,419,429
定期預金(債券アンダーパー取得分)	336,850	0	0	336,850
小 計	503,661,094	30,385	0	503,691,479
特定資産				
投資有価証券	199,689,225	100,000,000	0	299,689,225
定期預金(指定正味)	195,868,596	0	100,000,000	95,868,596
定期預金(一般正味)	16,000,000	0	16,000,000	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	1,035,905	0	0	1,035,905
モニュメント定期補修積立資金(モニュメント定期補修費)	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	413,593,726	100,000,000	116,000,000	397,593,726
合 計	917,254,820	100,030,385	116,000,000	901,285,205

(注)・特定資産の定期預金は、指定正味及び一般正味の種別に分けて記載している。

・特定資産の定期預金は、貸借対照表では「モニュメント定期補修積立資金」を合算した額を、「特別事業基金」科目で記載している。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券	499,935,200	499,935,200	0	0
定期預金	3,419,429	3,419,429	0	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	336,850	336,850	0	0
小計	503,691,479	503,691,479	0	0
特定資産				
投資有価証券	299,689,225	299,689,225	0	0
定期預金(指定正味)	95,868,596	95,868,596	0	0
定期預金(一般正味)	0	0	0	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	1,035,905	1,035,905	0	0
モニュメント定期補修積立資金(モニュメント定期補修費)	1,000,000	0	1,000,000	0
小計	397,593,726	396,593,726	1,000,000	0
合計	901,285,205	900,285,205	1,000,000	0

(注) 特定資産の定期預金は、貸借対照表では「モニュメント定期補修積立資金」を合算した額を、「特別事業基金」科目で記載している。

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,257,040	1,257,039	1
什器備品(美術品)	3,010,000	0	3,010,000
モニュメント(美術品)	17,000,000	0	17,000,000
投資有価証券	310,775	0	310,775
合計	21,577,815	1,257,039	20,320,776

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 記載区分
佐野市出捐金 (補助金)	佐野市	503,661,094	30,385	0	503,691,479	指定正味
佐野市出捐金 (寄附金)	佐野市	396,593,726	0	0	396,593,726	指定正味
合計		900,254,820	30,385	0	900,285,205	

(注) 原資は、市補助金500,000,000円(平成5年度～14年度まで毎年5千万円×10年)、民間寄附金393,556,000円(平成6年度～21年度まで、13,823件)であるが、市に一時繰り入れたことにより、貸借対照表等の科目では「市寄付金」としている。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(注) 当財団にて購入・運用している債券の帳簿価額は、満期時に債券額面による償還を受けることを予定している(満期保有目的の債券である)ことから、会計処理上、取得価額ではなく償却原価法(定額法)に基づく価額で表示している。また、表の「評価損益」とは、期末時点(令和4年3月30日または令和4年3月31日時点)の償却原価法にもとづく帳簿価額と時価との差額であり、満期時に額面による償還を受ける場合に見込まれる損益を示すものではない。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①第123回共同発行市場公募公債	100,000,000	100,190,000	190,000
②横浜市平成25年度第2回公募公債	100,000,000	100,240,100	240,100
③第149回共同発行市場公募公債	100,000,000	101,050,800	1,050,800
④東日本旅客鉄道第165回無担保普通社債	99,935,200	88,110,000	△ 11,825,200
⑤東京電力パワーグリッド第57回社債	100,000,000	99,650,000	△ 350,000
⑥中国電力第1回利払繰延条項付無担保社債	100,000,000	90,280,000	△ 9,720,000
⑦東京電力パワーグリッド第50回社債	100,000,000	96,340,100	△ 3,659,900
⑧東京電力パワーグリッド第51回社債	100,000,000	92,120,000	△ 7,880,000
合 計	799,935,200	767,981,000	△ 31,954,200

(参考)

公益目的事業用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①第123回共同発行市場公募公債	100,000,000	100,190,000	190,000
②横浜市平成25年度第2回公募公債	100,000,000	100,240,100	240,100
③第149回共同発行市場公募公債	100,000,000	101,050,800	1,050,800
④東日本旅客鉄道第165回無担保普通社債	99,935,200	88,110,000	△ 11,825,200
⑤東京電力パワーグリッド第57回社債	100,000,000	99,650,000	△ 350,000
合 計	499,935,200	489,240,900	△ 10,694,300

(参考)

法人会計用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
⑥中国電力第1回利払繰延条項付無担保社債	100,000,000	90,280,000	△ 9,720,000
⑦東京電力パワーグリッド第50回社債	100,000,000	96,340,100	△ 3,659,900
⑧東京電力パワーグリッド第51回社債	100,000,000	92,120,000	△ 7,880,000
合 計	300,000,000	278,740,100	△ 21,259,900

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	3,187,777
特定資産受取利息	1,955,723
投資有価証券評価益	1,031,775
合 計	6,175,275

(注)債券及び定期預金運用益による利息である。

V. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

該当なし。

VI. 財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	預金	普通預金 足利銀行佐野支店	運転資金	6,238,287		
	前払費用			賠償責任保険 令和5年分	105,000	
流動資産合計				6,343,287		
(固定資産)	1. 基本財産	基本財産 (定期預金)	公益目的保有財産	佐野信用金庫本店	3,419,429	
				栃木銀行佐野支店(第123回共同発行債権アンダーパー取得差額)	267,850	
	(投資有価証券)	基本財産 (投資有価証券)	佐野信用金庫本店 栃木銀行佐野支店(東日本旅客鉄道債権アンダーパー取得差額) 第123回共同発行市場公募公債(アンダーパー) 横浜市平成25年度第2回公募公債 第149回共同発行市場公募公債 東日本旅客鉄道(株)第165回無担保普通社債(アンダーパー) 東京電力パワーグリッド第57回社債		69,000	
					100,000,000	
					100,000,000	
					100,000,000	
					99,935,200	
					100,000,000	
	基本財産合計				503,691,479	
	2. 特定資産	特定資産 (定期預金)	管理運営財産		足利銀行佐野支店(指定)	80,868,596
					佐野信用金庫本店(指定)	5,000,000
					栃木銀行佐野支店(第142回共同発行債権アンダーパー取得差額、指定)	1,035,905
					佐野農業協同組合本店(指定)	10,000,000
					中国電力第1回利払繰延条項・期限前償還付劣後債(指定)	100,000,000
東京電力パワーグリッド第50回社債 東京電力パワーグリッド第51回社債					100,000,000 99,689,225	
(モニメント定期補修積立資金)	栃木銀行佐野支店(一般、定期)	モニメント定期補修費	1,000,000			
特定資産合計				397,593,726		
3. その他固定資産	車両運搬具	トヨタボックス1500cc(減価償却済)	(共用財産)	1		
				うち公益目的保有財産52.3%	(1)	
				うち法人の管理運営の用に供する財産47.7%	(0)	
				公益目的保有財産であり公1事業に使用している	3,010,000	
				公益目的保有財産であり公1事業に使用している	17,000,000	
什器備品	美術品			3,010,000		
モノユメント	美術品			17,000,000		
投資有価証券	東京電力パワーグリッド第51回社債			310,775		
その他固定資産合計				20,320,776		
固定資産合計				921,605,981		
資産合計				927,949,268		
(流動負債)	未払金		・臨時職員給与 3月分 ・社会保険労務士報酬3月分 ・唐沢山城跡石垣空中写真撮影業務費	847,882		
	預り金		職員所得税・住民税	180,769		
流動負債合計				1,028,651		
負債合計				1,028,651		
正味財産				926,920,617		

監査報告書

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
理事長 佐野正行様

令和5年5月15日

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
監事 白澤幸治 ⑩
公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
監事 成瀬正彦 ⑩

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を令和5年4月25日に監査いたしました。その後、支払いと支払科目について疑義が生じたので、改めて監査をした結果を、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び正味財産の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。